

タイトル	スマホっこぼんたくん	
対象、様式	3、4、5歳児・保護者	紙芝居

<作成の意図・内容>

乳幼児期から、子どもたちは特定の大人とのコミュニケーションや日々の関わりを通して、安心感や信頼感を育み、愛着を形成していきます。こうした関わりは、生きる力の基礎となる自尊感情の育成にもつながる大切なものです。

現代社会において、1人1台スマートフォンを持つことが当たり前になり、私たちの生活に欠かせない便利なツールとなっています。しかしながら、長時間の使用によって、コミュニケーション力の低下が指摘される中、睡眠不足による生活リズムの乱れ、視力や体力の低下など、子どもたちの心身への影響も懸念されています。

そこで、スマートフォンの使い過ぎが心身の発達によくないことを子どもたちに分かりやすく伝えるとともに、保護者と一緒にルールを決めて上手につき合ってほしいという願いをこめて、この紙芝居を作成しました。

※この紙芝居は、以前、福岡市立保育所で作成した紙芝居『テレビっこぼんた』をアレンジし、「スマートフォン」というメディアに着目して、シナリオを再構成したものです。

<使い方>

- ・紙芝居としてご使用ください。必要に応じて身近なセリフに置き換えて演じていただいても大丈夫です。
- ・保護者合同人権研修会などでもご活用いただけます。

<作成方法>

- ・データはA4サイズです。(必要に応じてサイズは変更して印刷してください)
- 片面印刷して、絵と文を台紙(画用紙・白表紙など)の表と裏に貼って紙芝居としてご使用ください。



※参考

「ネット・スマホのある時代の子育て(乳幼児編)」

URL:<https://www.cfa.go.jp/policies/youth-kankyou/leaflet> (こども家庭庁HP普及啓発

リーフレット集)